

サクラエビといっしょに獲れた遊泳性エビ類

久保田 正・佐藤 武

サクラエビ (*Sergia lucens*) は、沿岸海域でアミ類やアキアミ類と共にプランクトン（浮遊生物）を直接食用に利用されている駿河湾の代表的な遊泳性エビの一種です。本種は、駿河湾内に限定して生息していると思われがちですが、東京湾口以南、東シナ海、台湾からも報告され、駿河湾と台湾南部で商業捕獲がなされています。

駿河湾のサクラエビは、毎年春・秋季の二回の漁期に獲られ2010～2017年には年間約1,000トンの漁獲量がありました。近年不漁が続いて休漁や操業規制が行われ、2018年からは年間400トン以下に減少しているのが現状です。毎年の操業では、サクラエビと共に混獲されるのは魚類（主に深海魚）が多いのですが、時にはサクラエビ以外の遊泳性エビ類が獲れることがあります。筆者らは、永年これらのエビ類に注目して収集してきました。

当湾内から混獲される遊泳性エビ類は、現在14種以上が知られています（花村、未発表）。その内次の3科5属8種を紹介します（図1）。近年、サクラエビ類を細分化した分類体系が提唱されていますが、ここでは、種名の配列順序や学名は、「日本産海洋プランクトン検索図説、東海大学出版会（1997）」に準じました（今後の調査によって出現種数が、増える可能性があります）。

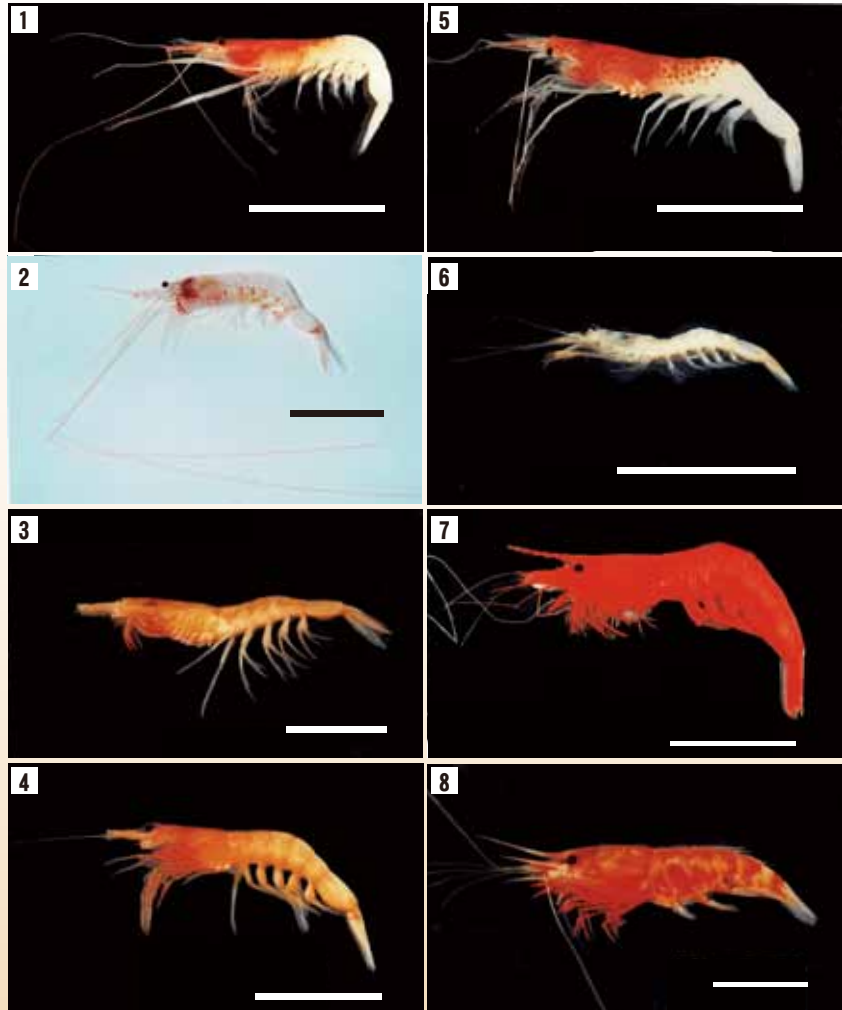


図1. サクラエビ漁で獲れた遊泳性エビ類8種
写真の中の数字は、本文中のリストの番号と一致する。
スケールは、すべて20mmを示す。

節足動物門・軟甲綱・十脚目

- ・サクラエビ科・カスミエビ属
- 1. トガリカスミエビ (*Sergestes armatus*)
- ・サクラエビ科・サクラエビ属
- 2. サクラエビ (*Sergia lucens*)
- 3. ヤマトサクラエビ (*Sergia japonica*)
- 4. ベニサクラエビ (*Sergia prehensilis*)
- 5. トゲヒゲサクラエビ (*Sergia talismani*)
- ・オキエビ科・シラエビ属
- 6. シラエビ (*Pasiphaea japonica*)
- ・ヒオドシエビ科・ヒオドシエビ属
- 7. サガミヒオドシエビ (*Acanthephyra quadrispinosa*)
- ・ヒオドシエビ科・オキヒオドシエビ属
- 8. オキヒメヒオドシエビ (*Oplophorus gracilirostris*)

駿河湾内のサクラエビ漁では、サクラエビ以外のエビ類が多量にまとまって獲れることはほとんど無く、サクラエビと混獲することによってのみ少数個体が入手出来ます。これらの中には深海にすんでいる珍しい遊泳性エビ類が含まれています。